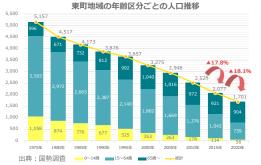
みどり市東町地域ビジョンの概要(令和3年度~令和7年度)



東町では急激な人口減少と少子高齢化が喫緊の課題

- 市全体で2005年をピークに人口が微減する中、東町地域は一貫して減少傾向。 5年間の人口減少率が直近では20%に迫る勢いで、年齢区分別で見ると、特に 年少人口(0~14歳)の減少率が著しい。
- 2020年時点で、東町地域の人口は 「みどり市人口ビジョン」の2015 年時試算よりも約500人近く減少幅 が拡大しており、人口減少が加速し 3,500 ている。 3,000
- 昭和51年度に初めて過疎地域として指定を受けてから継続して指定を受けている。



各分野のめざす姿と主な取組

林業

めざす姿

東町の基幹産業である林業の活性化により、林業従事者の拡大による移住者・関係人口の増加を図るとともに、地域資源の地産地消と循環利用を目指す。

主な取組

- ①木質バイオマスの利活用
- ②「木の駅 | 設置による市産材集積
- ③自伐型林業者の育成
- ④端材等を活用した体験事業と新商品開発

子育で

めざす姿

子育て世代が**安心して子育てに取り組める環境づくり**や、子育ての**心理的な負担を和らげるための体制づくり**に取り組むことで、定住促進を図る。

主な取組

①保育園の受入園児枠確保

農業

めざす姿

農業組織の体制強化や機械化、特産品等の生産支援を通じ、離農抑止や新規就農者の増加につなげ、農地の保全や移住者・関係人口の確保を図っていく。

主な取組

- ①既存農業組織と連携した就農者確保②集落営農組織への農業機械導入支援
- ③特産品となる作物の生産・商品化

商工観光

めざす姿

滞在環境や体験プログラムを充実させる ことで滞在型観光地へと転換を図り、観 光消費を拡大するとともに交流・関係人 口の増加を図る。

目標と4つの柱

主な取組

- ①滞在環境の整備
- ②体験プログラム等の拡充
- ③既存施設の充実による誘客

教育

東町ならではの地域資源を活用して「交流人口」や「関係人口」を増や

東町地域の1年間の人口増減率を▲2%以内に抑制する。

B 地域の取組に外から参加を呼びかけることで、**関係人口を増やす**。 C ハードとソフト両面から受入環境を整備することで、**移住者を増やす**。

A 地域資源を活用した魅力の発信を通じ、**交流人口を増やす**。

D 相対的な生活の利便性を確保することで、**転出者を減らす**。

社会減(転出)を抑制するとともに社会増(転入)を増やすことで、社会増減の均衡を保つ。

し、受入環境を整備する中で「移住」増加につなげ、同時に「定住人

「みどり市東町地域ビジョン」を策定

□□の維持を図ることで、人□減少の抑制を目指す。

めざす姿

小規模校ならではの特色ある教育を推進して移住の魅力を高めるとともに、児童・生徒が多様な交流や経験ができる機会づくりを地域一体で行っていく。

主な取組

- ①先進教育の導入
- ②個人競技に取り組める環境整備
- ③自然環境・農業体験学習の充実

7

めざす姿

牛活基般

人口減少に合わせて**公共施設や行政サービスのあり方を実情に合うよう変革**していくことで、現役世代や将来世代の負担 軽減を図る。

主な取組

- ① 今後の公共交通の検討
- ②簡易水道の経営安定化
- ③公共施設等総合管理計画に基づく施設 運営

移住支援

めざす姿

東町の基幹産業である林業の活性化により、**林業従事者の拡大による移住者・関係人口の増加を図る**とともに、**地域資源**の地産地消と循環利用を目指す。

主な取組

- ①空き家の有効活用
- ②地域おこし協力隊の任用
- ③移住に関する相談体制の充実

デジタル

めざす姿

デジタル技術を積極的かつ効果的に活用 することで地理的ハンディキャップを埋め、生活の利便性向上や関係人口の創出 を図る。

主な取組

- ①オンラインを活用した関係人口創出
- ②高齢者向けスマホ活用講座